

立憲民主党は、由利本荘市議会選挙において 2名を公認しました。

あわのきほさんのプロフィール Profile

1995年 由利本荘市生まれ。鶴舞小学校、本荘南中学校、由利工業高等学校機械科卒業後、聖霊女子短期大学生活文化専攻文化コミュニケーションコースに進学。卒業後は京王百貨店、羽後信用金庫へ勤務。子育て支援団体“おさがりっこ”を設立し副代表。得意なスポーツはバドミントン。2025年4月の補欠選挙にて初当選。

由利本荘市議会議員

あわのきほ

メッセージ

はじめまして。由利本荘市出身の30歳あわのきほです。今年4月の補欠選挙にて初当選いたしました。1期4ヶ月、市民の皆さまから寄せられた声を胸に、子どもたちの安全や子育て支援、そして地域の暮らしを守るため、全力で取り組んできました。学校統合にともなう学童保育の問題では、子どもたちや保護者の声に寄り添い、安全性や利便性を求めて具体的な提案を重ねてきました。また、少子化や人口減少といった深刻な課題に対し、「若者、子育て世代の声が届く政治」を目指してきました。しかし、まだまだやり残したこと、解決に向けて動き出したばかりの課題も多くあります。由利本荘市を支えてこられた

先輩方が、退職後も安心して暮らせるよう、福祉を充実すること。物価高が続くなか、働く皆さまの努力がしっかりと報われる社会を実現すること。市外へ出た方々にも「やっぱり子育ては由利本荘市で」と思ってもらえるまちをつくること。私は、他地域での子育て経験を通じて、由利本荘市の可能性ともしっかりと良くできる余地、その気づきを原動力に変え、現実的な改善策を形にしていきたいと思います。由利本荘市の良さを活かし、子どもたちの学びと成長、働く世代の安心、高齢者の穏やかな暮らしを支えるため、政策提案を続けていきます。ふるさとを諦めず、前に進める政治を。皆さまの声とともに、これからも由利本荘市を支える力となるよう、精一杯働きます。ともにこのまちをつくっていきましょう。

岡見よしとさんのプロフィール Profile

1964年、由利本荘市(旧大内町) 岩谷麓生まれ。1982年、西目農業高校を卒業後、NTT(旧日本電信電話公社)に入社。NTT労働組合秋田県分会事務局長を務め、労働環境の改善に尽力。地域では、岩谷小学校、出羽中学校のPTA会長を務めた。2017年由利本荘市市議会議員に初当選。2023年、2期5年務めた市議会議員を辞職し、県議会議員選挙に立候補したが落選。その後、立憲民主党秋田県総支部連合会の役職を歴任。現職：由利本荘市バスケットボール協会副会長/大内中学校学校運営協議会会長/岩谷児童館運営副委員長/岩谷麓町内会副会長/岩谷麓獅子舞保存会会員/由利本荘市スポーツ協会協力員

元由利本荘市議会議員

岡見よしと

メッセージ

2017年の市議会議員初当選から8年、これまでの活動に対する皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。市議会議員時代、地域活性化や防災・安心安全、雇用関係、教育関係、ICTなど約100項目にわたり提案や改善を求めてきました。コロナ禍で注目された移住定住やテレワーク環境整備などは以前から地域活性化や少子化対策として具体的な施策を提案し、その必要性を訴えてきました。コロナ禍では、苦しんでいる事業者に対する支援を提案し、その後の支援金創設につなげました。また、ロシアのウクライナに対する侵攻への抗議として意見書も発案し、市議会と国や関係機関への提出を実現することができました。このほか、外遊びの機会創出に向けたナイスアリーナへのバ

スケットリングの設置、観光案内板の新設改修、通学路の危険箇所への防護柵設置、議会へのタブレットの導入などを実現することができました。その後、秋田県議会議員選挙に挑戦。当選は叶いませんでしたが、落選後も様々な活動や経験、多くの方々との関わりを通じて地域のあるべき姿を考えてきました。こうしたなか、私にとって本当に大切なものは何かを考えた時、「住みたい、住みやすい、住みつづけたい」まちづくりに向け、市議会議員選挙に初挑戦した8年前に立ち返ることが、市民の皆さまへ恩返しできる最良の場であると再認識しました。原点回帰。これからも市民の皆さまとともに、由利本荘市のために力を注いでいきます。

あわのきはが取り組みたいこと

1 〈子育て・教育〉 安心して子育てができる、未来を育むまちへ

地域の未来を担う子どもたちを育てるために、教育環境の充実と学習支援を強化します。一時保育の拡充で子育て世帯の負担軽減と子どもの成長を支えます。

2 〈福祉・健康〉 健康と安心が広がる、由利本荘市へ

住民が健康で安心して暮らせる環境づくりを進めます。地域の絆を深めるとともに、誰もが利用しやすい福祉施設や健康促進の仕組みを整備します。

3 〈まちづくり〉 地域資源を未来資源に。みんなで創る由利本荘市

人口減少が進む中で増える空き家を活用し、新たな価値を創出します。移住者誘致や地域交流拠点としての整備を通じて、魅力あるまちづくりを推進します。

4 〈産業〉 自然の恵みで未来を拓く産業のまちへ

由利本荘市の豊かな自然と高品質な特産品を地域の誇りとして活用します。観光業や農水産業の強化を通じて、地域の経済をさらに活性化します。

5 〈経済〉 家庭も仕事も大切にできる、誰もが輝くまちへ

地域の中小企業や新たな事業を支えるための支援を充実させます。子育てや介護をしながらでも就業できる、柔軟な働き方や新しい雇用の創出を目指します。

6 〈若者にも政治に関心を持ってもらうために〉 若者の力で、由利本荘市に新時代を

若者が地域課題や政治に関心を持てる環境を整備します。行政の透明性を高め、市民が市政に参加しやすい仕組みをつくりまします。

岡見よしと政策の5本柱

1 安心して暮らせ優しさが感じられる街に

- 上下水道管の老朽調査とそれに基づく事前予防策の徹底
- 財政ありきではなく統合東小学校の学童施設問題を教訓とし、長期的視点に立ち市民の安心安全を見据えた政策の推進
- 高齢者間交流の機会を減らさないため、地域別敬老会のあり方を再検討
- 免許返納者を含め今後さらに増えるであろう交通弱者に寄り添った地域公共交通の再構築
- 地域コミュニティの再生に向けて伝統行事等と連携し老若男女が一体となった活動を推進
- 災害や火事等における一時避難先としての空き家の活用

2 人口減少対策へ果敢に挑戦

- Uターン帰郷者に対する助成金の大幅アップ
- テレワーク等を活用した首都圏との二拠点生活者に対する助成金（一時帰宅時の交通費補助等）の創出
- 学校給食費の無償化、幼保給食の主食の無償化で、子育て施策、教育予算割合日本一の自治体を売りとした転入者の増加
- 未来ある子ども達への投資的観点から、教育予算の確保や子どもの貧困対策に向けたクラウドファンディングの活用

3 食べて行ける農業に向けた支援

- 首都圏等からの新規就農による転入者に対するさらなる市の独自財政支援
- 物価高騰対策として、稲作、畜産、果樹、花き農家へ飼料等の購入助成
- 首都圏等で需要がある高品質な農産物のPRの深化

4 ICT活用の更なる促進と活用の深化

- 校内LANの安定性向上等のハード面や教える側のスキル向上含めたソフト面の充実とその支援
- マイナンバーカードの利便性や有益性に対する理解とセキュリティに対する不安解消や利用促進に向けた支援
- 被災者自らが避難場所や支援ニーズ等を行政に発信できるスマートフォンアプリ等、本市の特性に適したツールの導入
- 認知症予防にも効果が実証されているeスポーツ関連機器の高齢者施設への導入支援

5 人が集う施設の環境整備

- 観光客の目線に立ち、トイレの洋式化（ウォッシュャー）とともに清潔感のあるトイレの維持
- 空き家（テナント）を活用して、囲碁、将棋、麻雀、eスポーツなどでコミュニケーションの場を提供し、世代間交流を創出
- 矢島・由利原高原でのドックランや法体の滝での水遊び等、当市の特性を活かし、人とペットが交流できる施設の環境整備

